



もとみや

議会だより

第52号

平成30年4月発行



砂遊び、たのしいね!

(プリンス・ウィリアムズ・パーク
記念樹の杜屋外あそび場)

新年度予算審査	P.2~5
視察研修報告(議会運営・広報広聴)	P.9~10
市民との意見交換会対応報告	P.10~12

173億円



市民一人当たり
約57万円

※H30.3.31の住民基本台帳人口30,520人

衛生費 27億439万円

市民一人当たり 8万8,610円

3



放射能対策や健康・環境整備に

民生費 37億609万円

市民一人当たり 12万1,432円

1



子ども・高齢者福祉に

教育費 **17億4,298万円**
市民一人当たり **5万7,109円**
学校教育や文化芸術に

土木費 **16億7,030万円**
市民一人当たり **5万4,728円**
道路や河川・公園整備に

総務費 **14億5,981万円**
市民一人当たり **4万7,831円**
職員人件費や各種計画に

公債費 **10億8,542万円**
市民一人当たり **3万5,564円**
借金返済に

商工費 **7億4,765万円**
市民一人当たり **2万4,497円**
商工業・観光振興に

消防費 **7億2,494万円**
市民一人当たり **2万3,753円**
消防・防災に

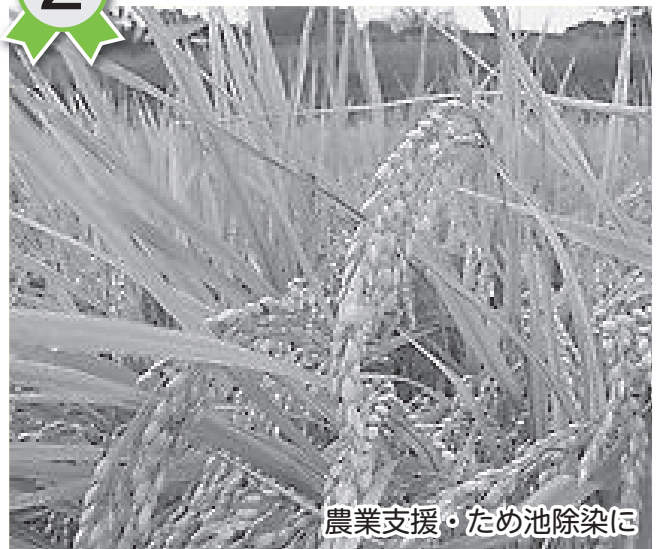
議会費 **1億8,530万円**
市民一人当たり **6,071円**
議員報酬・議会運営に

労働費・予備費等 **7,413万円**
市民一人当たり **2,429円**

農林水産業費 31億9,899万円

市民一人当たり 10万4,816円

2



農業支援・ため池除染に

30年度 予算

一般会計

前年度比
28.6%の増

子どもたちの未来のため、
住みよいまちづくりを進めます！



糠沢幼稚園入園式



3月定例会は次年度の予算を
審議する大切な議会です

予算編成方針

「未来に向かって！」

笑顔あふれる

もとみや創生」

平成30年度の市政運営にあたっては、人口減少社会への挑戦、市民一人ひとりが、未来に向かって笑顔になれる本宮市を目指しながら、本市の発展と持続可能な社会づくりに取り組んでいくことを基本方針とし、特に次の施策に重点的に力を入れて取り組むといたします。

- 定住促進
- 本宮駅周辺東西アクセス整備
- 道路改良と橋の長寿命化
- 防災通信施設の整備
- 第2次総合計画の策定
- 教育振興
- しごと創出・農業振興
- 地域福祉の充実
- 国際交流の推進
- 放射能除染

このような施策を進めていく上で、財政健全化を堅持しつつ、地域や市民との協力関係を密にしながら、さまざまな事業を効果的に実施し、住みよいまちづくりを進めるとしています。

証明書コンビニ交付の範囲は

総務費

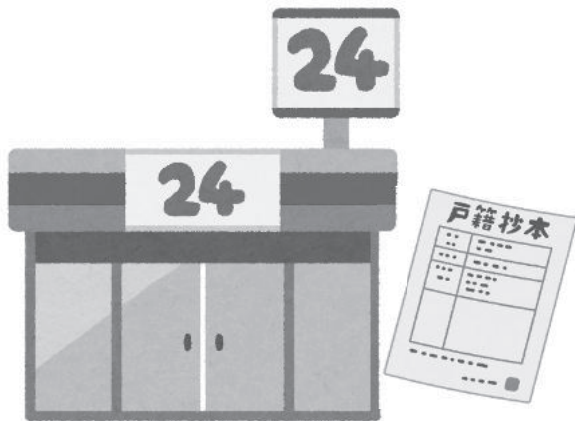
問 各種証明書がコンビニで交付できるようになるということだが、戸籍については原戸籍や除籍、税証明は過年度分に対応しているのか。

答 戸籍については、現在の戸籍のみの対応である。税証明は所得証明書と課税証明書が交付できるが、過年度分については、対応を検討する。



予算審査質疑

ピックアップ



コンビニで各種証明書が交付できるように整備

除染土壤の搬入終了の見込みは

衛生費

問 学校や地域のグラウンドなど、公共施設に埋設した除染土壤の仮置き場への搬入は、平成30年度中に終了するのか。

答 平成29年度より埋設していた除染土壤の掘り起こしと仮置き場への搬入を行っている。平成30年度は、46施設の掘り起こしを予定しており、それが完了すると、すべての除染土壤の搬入が終了する。

各会計予算額

一般会計	173億円
国民健康保険特別会計	28億3,814万円
（事業勘定） （直営診療施設勘定）	1億121万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,959万円
介護保険特別会計	25億9,509万円
公共下水道事業特別会計	8億5,151万円
工業用地造成事業特別会計	5億9,411万円
工業用地資産運用事業特別会計	1億1,462万円
水道事業会計（収益的支出）	9億2,157万円
総計	255億9,584万円

一般会計の歳入内訳

市税	42億392万円
地方交付税	31億5,664万円
国庫支出金	26億8,456万円
県支出金	24億3,911万円
繰入金	19億5,063万円
市債	12億8,890万円
地方消費税交付金	5億6,268万円
地方譲与税	1億8,164万円
分担金及び負担金	1億4,593万円
繰越金	8,000万円
その他（使用料等）	6億599万円
総計	173億円

矢沢橋の完成予定は

土木費

問 市道追付頭・矢沢線の矢沢橋は現在通行止めになっているが、仮設の橋等の設置予定はあるのか。また橋の完成予定の時期は。

答 矢沢橋を架け替えした場合、工期が3年ほどかかってしまう。ボックスカルバート工（※注）であれば大幅に工期が短縮されるので、設計ができしだい着工し、年度内の完成を目指す。仮設の橋も、通常の工事と同程度の工期がかかるので、設置しない。

※注 ボックスカルバート工…大型の箱形のコンクリート製構造物。



小学校にタブレット端末を導入

試行巡回バスの継続判断基準は

商工費

問 試行巡回バスの概要は。また、平成30年度の運行終了後、平成31年度以降の継続の判断基準は。

答 4月から11月までの間、土日祝日の9時から16時まで1日に4回の運行で、市内7か所の停留所を回るコースを予定している。平成31年度以降の運行については、利用者からの意見や他のコミュニティバスとの関係等、総合的に検討し判断する。

タブレットの教室での使用は

教育費

問 白沢地区の3小学校にタブレット端末を導入することだが、パソコン教室だけでなく、普通教室でも使用できるのか。

答 タブレット端末の導入と並行して、無線LANの設置とアクセスポイントの整備を進め、普通教室においても使用できるようにする。

GAP認証取得への取組みは

問 本市としてもグローバルGAP（※注1）やJGAP（※注2）の認証取得に向けた取り組みへの支援が必要だと思うが考えは。

答 まず、GAPの制度を生産者の方々に周知していく必要がある。JA等関係団体と一緒に、認証取得に向けて何ができるのか検討していく。

※注1 グローバルGAP…GAPは農業生産工程管理のこと。グローバルGAPは全世界共通の認証基準。

※注2 JGAP…日本独自の基準で認証するGAPのこと。

英国との交流の今後は

問 英国との交流を長く続けていくうえで、今後の予算確保の考えは。

答 国際交流に関する財源や仕事の受皿を今のうちに作っておかないと、続かない。オリ・パラ終了後、どう継続していくかは未定だが、しっかり準備していきたい。

平成30年度の意気込みは

問 平成30年度一般会計は前年度予算より28.6%増となった。予算を計画にのせ、実行していくことが重要である。意気込みは。

答 平成30年度は、5年間の地方創生の折り返しで、大切な年である。また、第2次本宮市総合計画を決める年であるので、例年よりも力を増して計画を練り、実行に移していきたい。

多世代交流施設の活用は

問 老人憩の家を多世代交流施設として整備したが、今後の活用は。

答 基本的なサービスの内容は、以前と変わらない。子どもからお年寄りまで多世代で交流できる場所となったことを、積極的に情報発信していく。

市長への総括質疑

各会計予算など 30議案を可決

定

3

例

月

会

3月定例会（第1回本宮市議会定例会）は、市長から条例の制定や各会計予算など29議案と報告2件、議員からは発議1件が提出され、討論・採決を行った結果、全ての議案を原案通り可決しました。

また、陳情2件が提出され、審議の結果、1件は採択、もう1件は不採択と決定しました。

今議会には、平成30年度の各会計の予算が上程され、予算審査特別委員会を設置し、4日間にわたって集中審議を行いました。詳細は2ページから5ページに掲載されています。

一般会計補正予算

高木地区公民館の物件補償費、広域行政組合への負担金を減額

今議会に提出された平成29年度一般会計補正予算の主なものは、高木地区公民館の物件補償契約が3月末の締結となったことで、翌年度の歳入になることによる基金積立金等の減額や、安達地方広域行政組合への負担金の減額、その他、各種事業の決算見込みによる補正が計上されました。

また、財政調整基金や減債基金の積立金、平成30年度産米に係る力り肥料配布に要する費用、多世代交流施設「あぶくま憩の家」の完成に伴う、中高齢勤労者福祉センター敷地の舗装工事費、障がい介護給付費負担金の増額分などが計上されています。

議案質疑

多世代交流施設の利用時間は

問 多世代交流施設の利用時間を9時から16時とし、休館日を日曜・祝日とした理由は。

答 施設内のお風呂を沸かす時間と清掃の時間の関係から、今までと同様の利用時間とした。休館日については、旧老人憩の家が土曜日も開館していたため、旧白沢老人福祉センターも同様に土曜日開館とした。

損害賠償の身は

問 歳入の原子力発電所事故に伴う損害賠償金過年度分の身は。

答 和田地区の仮置き場の物件補償費である。平成24年度から27年度分の約1千6百万円の支払いがなされた。

平成29年度

一般会計補正予算

7,700万円を減額



《一般会計補正予算の主な内訳》

歳出

- 財政調整基金積立金 … 2億1,079万円
- 教育施設等整備事業基金積立金（減額） … △1億6,503万円
- 減債基金積立金 … 1億円

歳入

- 支障物件移転補償費（減額） … △1億2,803万円
- 市民税（現年課税分） … 8,500万円

一般会計総額

148億350万円に

▲あぶくま憩の家の敷地内の舗装工事を実施（486万円）

人事

議会最終日に任期満了に伴う教育長と教育委員会委員の任命について議案が上程され、全会一致で同意しました。

教育長（新任）

青田 誠氏（本宮字大森）

教育委員会委員（再任）

渡辺 俊之氏（白岩字馬場）

「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書」を提出

日本労働組合総連合会福島県連合会二本松・安達地区連合から提出された「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情書」については、審査の結果、採択となり、内閣総理大臣等に対し、意見書を提出することとしました。



▲常任委員会の様子

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定についてのほか議案1件、陳情1件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

改定案の算定根拠

説明 特別職報酬等審議会からの答申に基づき、報酬金額を改定する。

問 審議会に提案した報酬改定案の算定根拠は。

答 県内他市の中で報酬額が一番低い市を比較対象とし、市長と市議会議員の報酬割合をひとつの基準として見直しの判断を行った。

本宮市国際交流活動に従事する外国青年の給与等に関する条例制定

休日勤務に伴う割増は

説明 国際交流事業の円滑化、語学教育および国際理解の一層の充実を図るため、平成30年度に配置を予定している国際交流員の給与等、必要事項を定めるもの。

問 国際交流活動は、勤務体系が不規則になることが想定されるが、休日等の勤務に伴う割り増し規定はないのか。

答 国際交流員には、勤務時間の上限があるため、超過勤務が発生しないように、勤務日程を調整することとなる。

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、本宮市多世代交流施設条例制定についてのほか議案4件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

本宮市多世代交流施設条例制定

団体利用の調整は

説明 本宮市多世代交流施設「あぶくま憩の家」の両施設の利用形態、料金等の統一化を図るために条例を制定するものであり、子どもから高齢者までの多くの方が交流できる施設として、生きがい作りと地域社会貢献を目的とする。

問 多世代交流施設の団体利用について利用者会議を開く必要があるのではないか。



▲本宮地区除染仮置場（高木字前田地内）

答 多世代交流施設という性質上、利用対象者を絞って会議を開催することが困難であるが、利用者に対しては不平等がないよう職員の研修に努めていく。

本宮市介護保険条例の一部改正

基金取り崩しの理由

説明 平成30年度から32年度までの介護保険料を前年より引き上げるものである。

問 基金を取り崩す理由はないか。

答 保険料の急激な高騰を防ぐために基金を取り崩して保険料の高騰を抑えている。基金の取り崩しをしない場合の介護保険料は月額6千円を超え、そのため、基金の約85%を充当して今回の保険料となった。

現地調査

高木字前田地内の除染仮置場の現地調査を実施した。

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会には、本宮市農業水利施設等保全再生事業基金条例制定についてのほか議案3件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。



▲雨水対策工事予定地（本宮字千代田地内）

本宮市農業水利施設等保全再生事業基金条例制定

基金積立の必要性

説明 農業用ため池の放射性物質対策を行うために基金を制定する。

問 なぜ基金として積み立てる必要があるのか。

答 農業用ため池の放射性物質対策事業は、稲作の状況を勘案しながら施工する必要があり、複数年度にまたがるのが想定されるため、平成30年

度当初に基金の積み立てを行い、予算繰越を想定して基金の創設を行う。

本宮市道路占用料徴収条例の一部改正

占用料の減額は

説明 道路法施行令の一部が改正となったことに伴い、関連する条例の一部を改正し、占用料の減額を行うものである。

問 条例改正に伴い、道路占用料はどれだけ減額となるのか。

答 今回の改正で電柱の占用料が1本あたり10円減額となるが、平成29年度から占用電柱の本数が増えているため、来年度は今年度とほぼ同額の歳入を見込んでいます。

現地調査

本宮市排水対策基本計画で予定する排水対策箇所（本宮字万世・千代田地内）の現地調査を実施した。

議会運営委員会

議会改革の先進地を視察



▲取手市議会本会議場にて

1月30日に、茨城県取手市において、議会運営全般、議会改革、議会インターネット中継、ワールドカフェ方式による課題抽出について、調査を行った。

議会運営全般については、議員の討論を一議題につき、3回まで行うことができるとしている。通常、討論一人1回と討論交互の原則があるが、議会は討論の場であるとの観点から、3回の討論を積極的に推進している。この討論方法は、議会の活性化や傍聴者の増につながるものと感じ、大いに参考となった。

次に議会改革だが、議会中の妊娠、出産、子育て等の対応のため、女性議員による議会改革特別委員会を設置し、調査・検討を行っていた。また、議会報告会を年2回開催しており、発言しやすい雰囲気を出した

め、グループに分かれて車座になり意見交換を行っている。開催の周知方法として、議会のメールマガジン等を利用している。

次に議会インターネット中継だが、現在、4台のカメラを使用しライブ中継および録画配信を行っている。主なメリットとして、傍聴に来なくても議会を見ることができ、また、家事をしながら音声を聞くことができること、デメリットとしては、議会の傍聴者が減ることであるとの説明があった。

次にワールドカフェ方式による課題抽出だが、会場全体を「世界」、グループを「国」と仮定し、参加者がグループを移り旅行するというイメージに置き換え、お茶等を準備してカフェの雰囲気を出し、より気軽に発言しやすい環境をつくることで、多くの課題や意見を出してもらおうという方法を、各種団体等との意見交換会で採用していた。議会運営は、各議会によって多様な考え方や手法があり、本市の状況に最も合う姿を検討していくため、今後もさらに調査研究を重ねていく。

広報広聴委員会

広報広聴活動の先進地を視察



▲埼玉県所沢市視察研修

2月7日に、埼玉県所沢市において、議会の広報広聴活動について、調査を行った。

所沢市議会では、主な広聴活動として、議会報告会、政策討論会、「みみ丸カフェ」の3つを実施している。

まず議会報告会だが、年に4回実施している。うち2回は、ワークショップ形式で実施しており、議員2名につき、10名程度の市民と議会報告や意見交換を行う。多くの市民に参加してもらえよう、議員が駅前で広告入りのポケットティッシュ配りなどを行っている。

二つ目の政策討論会だが、これは一つのテーマに対する議員間討議を通し政策立案、政策提言を積極的に推進するものである。市民に対して公開しており、

基本的に市民は傍聴のみだが、意見や質問等がある場合は、記入用紙を配布し、討論会中に議員が回答する。回答しきれなかったものについては、議会のホームページに掲載している。

三つ目の「みみ丸カフェ」だが、これはワールドカフェ方式の意見交換会である。「みみ丸」とは、所沢市議会が作成した議会の広報広聴マスケットキャラクターである。参加者を5人程度のグループに分け、メンバーを入れ替えながら3回の意見交換を行う。所沢市議会では、市内の20代から50代までの現役世代を無作為に抽出し、参加者を募集した。預かり保育を実施したり、お茶を用意したりなど、市民が参加しやすい、話しやすい雰囲気づくりを行っている。

これらのほかにも、ツイッターやフェイスブックといったSNSを利用した情報発信を行っている。

議会の広報広聴活動は、市民の皆さんに議会に興味を持っていただくための重要な活動である。今回の視察研修で学んだことを生かし、議員と市民とが、もっと気軽にコミュニケーションがとれるよう、今後も本報に見合った、よりよい広報広聴活動を模索していく。

意見・要望への対応をお知らせします

昨年11月27日、28日に開催した市民との意見交換会でいただいた皆さんの意見・要望を、広報広聴委員会で「市長に伝えるもの」と「議会にて対応するもの」に精査分別し、1月19日、4月18日の全員協議会で対応方針を決定しました。

市長に伝えるもの

市長に伝えるものは、市民の率直な意見として2月9日に市長に提出しました。内容の一部を次ページにてご紹介します。

市長に伝えるものの詳細は、本宮市議会のホームページに掲載しています。

平成28年度の要望はこのように対応されました。(一例)

- ゲリラ豪雨の検証をして、再発防止を
→本宮市排水対策基本計画検討委員会が設置され、排水対策基本計画が策定されました。
- 空き家の状況調査をしてほしい。
→空き家所有者の特定調査を実施し、利活用や適正な維持管理のため、関係団体との協定が締結されました。



本宮小学校区

- ・ 館町の側溝除染は一切やっていない。館町の側溝の除染はいつごろまでかかるのか。
- ・ 本宮小学校グラウンド裏の館町へ行く避難道路は、原則は通行止めにしてほしい。側溝に蓋をしてもらえば、車が1台通れるようになり、非常時に団地から車を上げることができるようになる。
- ・ 高木地区公民館を舟場に造って洪水の時にどうやって逃げるのか。水害被害のない所に集約していくべきだ。また、川の水が堤防を越えた場合の事も考えているのか。ハザードマップも理解してやってほしい。

本宮まゆみ小学校区

- ・ 西口開発についていつまでも着手しない。駅周辺に駐車場がない。財政状況を良くし、工業団地を誘致すべきでは。
- ・ 施設があっても交通手段がなくて、行くことができない。まゆみアリーナは、平日午前中、駐車場には車が停車していない。利用していないのはもったいない。
- ・ 専門の農業に対しての補助はどうか。例えば本宮にあった果実、花を研究し、名産にできないかを検討し、将来的には観光農業に結び付けるとかが必要なのでは。
- ・ サンライズもとみやにエレベーターを設置してほしい。パークゴルフ場をもつ1コース作ってほしい。18ホールあると観光地になるのではないか。相馬市のパークゴルフ場を視察してほしい。

本宮第一中学校区

- ・ 昼間人口を増やすだけでなく、定住人口を増やす定住環境を整備すべきだと思う。そのためには五百川駅前広場整備だけでなく、五百川駅を核とした地域開発を大きな柱として進めるべきだと思う。
- ・ 朝日会館から五百川駅までの道路が狭く歩道がない。朝晩自転車や車の通行量が多く危険である。駅の構想も大事だが、まずは道路の拡幅整備が必要ではないか。
- ・ インター周辺の開発で道の駅はもちろんだが、アウトレットの誘致も考えてはどうか。宮城、栃木、茨城どこにもある。福島県にはない。原発事故等の暗いイメージがあるので、人が集まる賑やかなイメージにするためにも考えてみてはどうか。

白沢中学校区

- ・ ふれあい夢広場のステージにトイレが無く、公民館のトイレを使用するため、来場者から苦情があった。また、ステージを使用するには、衣装替えする場所が必要との声もあった。
- ・ 本宮市には多くの人が集う屋内施設が無い。1000人、できれば1500人を収容可能な施設が必要と思うが。
- ・ 和田小学校の児童数減少で、将来白沢地区の小学校統合も考えられる。統合する時は、計画性のない場所ににわかで作るのではなく、早めに場所を確保しておくべきと考えるが。
- ・ イクタンタクシーの休日運行はできないのか。

議会にて対応するもの

本会議の議事録を図書館等で閲覧可能に

議会にて処理するものは、広報広聴委員会で協議し、議会として対応するものと個人で対応するものに振り分けを行いました。議会として対応するものの内容の一部をご紹介します。

・議事録、予算書、決算書がすぐに見られるように、公民館に市民コーナーを作って置いてほしい。市役所で閲覧できるが、5時以降は見られない。議員が何をやっているか分かるようにしてほしい。

・一般質問では良いことを言っているのに、質問や回答についても、議員ももっと努力をして「見える化」をしてほしい。

↓現在、予算書と決算書については、しらさわ夢図書館で閲覧可能である。本会議の議事録は、しらさわ夢図書館と中央公民館図書室で閲覧できるよう、平成30年分から対応する予定である。

・FMモットコムでの一般質問の放送をCDで販売してほしい。

↓FMモットコムの放送は、出演した本人であれば録音データがもらえるので、一般質問の放送を聞きたい議員へ直接連絡願う。

・政務活動費が月1万円では足りるのかという疑問がある。お金で縛られ議員活動が制限されてしまうのはいかがか。市民のために活動していただきたい。頑張っている方に対しマイナスになるようでは困る。

↓今後、時間をかけて検討していく。

・市長も、これから10年間のまちづくりに向けてという内容で、地域懇談会を開催している。議会としても本宮市をこうしたいというものをまとめて、つきあわせ、お互い切磋琢磨しながら行っていくべきである。地域の問題点や考え方を聞くべきであり、専門部会を作ってはどうか。

・専門部会設置を検討して、どのようなまちづくりをするかを議会として取り組んでいただくよう要望したい。

・平成31年度から新たな総合計画がスタートするが、その計画にどのようなビジョンを描いていくか議会も市民も議論していかなくてはならないし、その計画の中に議会としても意見を入れていかなければならないと思う。

↓特別委員会などの専門部会は設置せず、各常任委員会にて調査・検討し、全員協議会で取りまとめ、議会としての意見を総合計画に反映できるよう取り組んでいく。

本会議での討論

3月19日の本会議で、議案第2号、第6号、第9号、第20号、第23号の5つの議案と陳情第2号の不採択について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

議案第2号

本宮市国際交流活動に従事する外国青年の給与等に関する条例制定

この議案は、国際交流事業の促進と充実を図るため、国際交流員を配置するにあたり、給与等の必要な事項を定めるものです。

反対討論

渡辺忠夫議員

国際交流活動は必要だとは思いますが、外国青年に従事させる必要はない。英国との交流を英国庭園の縁だけで行うのは、多くの市民は納得していないと思う。外国青年に従事させるということは、長い期間、事業を行うということであり、賛成できない。

賛成討論

後藤省一議員

本条例は、現在、市が推進している国際交流事業のより一層の充実を図るために、配置を予定している国際交流員の基本事項を定めるものである。国際交流員を配置することにより、国際交流事業の推進はもとより、語学教育や国際性豊かな人材育成への効果が期待される。

議案第6号

本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

この議案は、昨年12月の本宮市特別職報酬等審議会の答申に基づき、議会議員の報酬を引き上げるものです。

反対討論

渡辺忠夫議員

現在の本宮市の議員報酬は、決して低いものではない。他市と比べ低いというが、金額だけでは比較できない。1千万円の予算増となるが、これを市民のために使う方が、市民が納得するのではないか。

賛成討論

後藤省一議員

改定額は、各種団体の代表や公募委員の計10名からなる本宮市特別職報酬等審議会が、隣県類似市や県内の最も議員報酬の低い市との比較によつて定めたものであり、答申を尊重すべきである。

議案第9号

本宮市介護保険条例の一部改正

この議案は、第7期介護保険事業計画に基づき、介護保険料を改正するものです。

反対討論

渡辺忠夫議員

介護保険料の引き上げは、市民の負担増になる。

賛成討論

菅野健治議員

高齢者人口の増加に伴い、介護保険サービスの利用者が増え、一人当たりの介護福祉サービス給付費も増加傾向にある。保険料の見直しを行わなければ、必要なサービスの提供に支障をきたす恐れがある。

議案第20号
平成30年度本宮市一般会計予算

平成30年度の一般会計予算です。予算の概要は、2ページから3ページのとおりです。

反対討論

渡辺忠夫議員

地域交流センターの建設は駅周辺のにぎわいのためと言うが、中央公民館や歴史民俗資料館など市民のための施設の改築等を優先させるべきであり、具体的な商業振興策などが見られず、多額の予算を使うことに納得できない。英国との交流は、多くの市民の納得という点で、疑問がある。各種証明書のコンビニ交付サービスの導入は、マイナンバーを使用するもので、多くの自治体で情報漏洩が相次ぐ中での導入はやめるべきである。また、待機児童ゼロにむけて、保育士・幼稚園教諭の確保等に予算措置が必要である。市民の願いの充実や住環境をよくすることが重要である。

賛成討論

橋本善壽議員

東西自由通路や地域交流センター等、本宮駅周辺整備については、本市の核となる事業であり、にぎわい創出や定住促進に重要な施策である。また、英国との交流は、将来を担う子どもたちが、国際性豊かな人材となることにより、本市のさらなる発展につながる。



反対討論

国分勝広議員

現在、全国の自治体では、将来の財源不足を見越して、公共施設の縮減や土木インフラの長寿命化を図る方向にある。本宮市の人口予測では、20年後に約2万6千人から2万7千人程度になると予想される。税収の減少と社会福祉費の増加を考えると、建設が予定されている地域交流センターは3階建であり、時代に逆行する。2階建で十分である。

また、待機児童が出る要因の一つが、働きながら子育てをする女性が増えていることである。年度途中でも保育所へ入所できるような体制を整備すべきである。

賛成討論

菅野健治議員

待機児童対策としては、白沢保育所の遊戯室改修や、職員体制の見直しによって、解消が図られている。

議案第23号
平成30年度本宮市介護保険特別会計予算
 平成30年度の介護保険事業の運営に関する予算です。

反対討論 **渡辺忠夫議員**
 介護保険料の引き上げは、市民の負担増になる。また、包括支援事業において、コーディネーターを委託することなどが、それで本当に事業が成り立つのか疑問である。

賛成討論 **橋本善壽議員**
 包括支援の整備等を行うためには、専門的知識と地域に密着した体制が必要であるため、委託は適当である。また、高齢者人口が増加する中で、安定したサービスの供給体制維持のため、保険料の引き上げは必要である。

陳情第2号
待機児童解消、保育士配置基準の見直しと処遇改善を求める意見書の提出を求める陳情書
 この陳情は、付託された総務文教常任委員会では不採択となりましたが、その決定について反対がありました。

不採択 反対討論 **渡辺忠夫議員**
 待機児童の解消や保育士の配置基準の見直し、処遇改善は喫緊の課題である。本市独自の施策だけでは、不可能な部分も出てくることから、国へ意見書を出すべきである。

不採択 賛成討論 **後藤省一議員**
 待機児童の解消策として、保育士の労働環境の改善が必要という点は理解できるが、保育士の不足が慢性化、深刻化している現状、配置基準を厚くすることは、さらに保育士の確保を困難にしかねず、実態にそぐわない。

3月定例会賛否一覧

これら以外の議案等は16ページのとおり全会一致で可決されています。

議案番号	みらい創和会						新風会						共	志誠会			無所属			
	川名正勝	渡辺善元	円谷長作	三瓶幹夫	石橋今朝夫	渡辺由紀雄	國分義之	川名順子	山本勤	三瓶裕司	菅野健治	斎藤雅彦	渡辺忠夫	根本七太	後藤省一	橋本善壽	伊藤隆一	作田博	国分勝広	渡辺秀雄
議案第2号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第23号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第2号不採択	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 議長（渡辺由紀雄）は採決には加わらない
 ※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

議決結果一覧表

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて（専決第2号 平成29年度本宮市一般会計補正予算（第10号））	承 認
議案第2号	本宮市国際交流活動に従事する外国青年の給与等に関する条例制定について	原案可決確定
議案第3号	本宮市農業水利施設等保全再生事業基金条例制定について	原案可決確定
議案第4号	本宮市多世代交流施設条例制定について	原案可決確定
議案第5号	本宮市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定について	原案可決確定
議案第6号	本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第7号	本宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第8号	本宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第9号	本宮市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第10号	本宮市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第11号	本宮市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第12号	市道路線の認定について	原案可決確定
議案第13号	平成29年度本宮市一般会計補正予算（第11号）	原案可決確定
議案第14号	平成29年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	原案可決確定
議案第15号	平成29年度本宮市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第16号	平成29年度本宮市介護保険特別会計補正予算（第5号）	原案可決確定
議案第17号	平成29年度本宮市公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）	原案可決確定
議案第18号	平成29年度本宮市工業用地造成事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決確定
議案第19号	平成29年度本宮市水道事業会計補正予算（第5号）	原案可決確定
議案第20号	平成30年度本宮市一般会計予算	原案可決確定
議案第21号	平成30年度本宮市国民健康保険特別会計予算	原案可決確定
議案第22号	平成30年度本宮市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決確定
議案第23号	平成30年度本宮市介護保険特別会計予算	原案可決確定
議案第24号	平成30年度本宮市公共下水道事業特別会計予算	原案可決確定
議案第25号	平成30年度本宮市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決確定
議案第26号	平成30年度本宮市工業用地資産運用事業特別会計予算	原案可決確定
議案第27号	平成30年度本宮市水道事業会計予算	原案可決確定
議案第28号	教育長の任命について	同 意
議案第29号	教育委員会委員の任命について	同 意
報告第1号	本宮市自主的財政健全化計画の平成28年度実施状況について	
報告第2号	専決処分の報告について（専決第1号 和解について）	
発議第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決確定
	閉会中継続調査申出書（議会運営委員会・各常任委員会）	決 定

陳 情 一 覧 表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件 名	提出者の氏名	審議結果
陳情第1号	平成30年2月19日	省略	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情書	日本労働組合総連合会 福島県連合会二本松・安達地区 連合 議長 高橋 誉	採 択
陳情第2号	平成30年2月19日	総務文教	待機児童解消、保育士配置基準の見直しと処遇改善を求める意見書の提出を求める陳情書	福島県保育連絡会 代表 大宮 勇雄	不採択

一般質問

市政を問う

3月定例会の一般質問は12名の議員が登壇し、3日間にわたって行われました。

1 議員2題、内容を要約してお伝えします。

18ページ…

■作田 博議員

・計画道路の進捗状況と推移は

・菅森山（花山公園）の公園化は

■後藤省一議員

・本宮駅舎等の進捗状況と経済効果は

・安達太良SAにスマートインターを

19ページ…

■石橋今朝夫議員

・ピロリ菌検査を行っては

・買い物弱者に対する支援は

■三瓶裕司議員

・栗木平心急仮設住宅の再利用は

・排水対策基本計画の期間の短縮は

20ページ…

■齋藤雅彦議員

・ふれあいネットワークの進捗は

・迷惑防止条例（仮）制定の検討は

■根本七太議員

・東京オリ・パラに向けた取組みは

・道路整備について

21ページ…

■円谷長作議員

・GAP認証の取得促進に向けた取組みは

・国民健康保険の県統合への対応は

■菅野健治議員

・消防団屯所の建設について

・平成29年度で終了する除染の総括は

22ページ…

■渡辺善元議員

・水稲作付の制度変更に対する考えは

・除染事業の今後は

■渡辺忠夫議員

・平成30年度国家予算について問う

・保育士、幼稚園教諭の確保は

23ページ…

■渡辺秀雄議員

・荒井関畑地区の土地利用計画は

・広く国際交流を推進すべきでは

■三瓶幹夫議員

・小・中学校のいじめ・不登校対策は

・選挙投票率向上の対策は



問 計画道路の進捗状況と推移は
答 国の補助事業で実施したい

作田 博
議員

問 計画道路である、館ノ越・関根線の整備および関根橋の架け替えの見通しは。

答 館ノ越・関根線については、平成30年度から補助事業で実施したい。関根橋は県の方針で、百日川の護岸工事と同時に施工する。優先順位の高い市道整備であるので、強い要望と合わせて全力で進める。

問 菅森山（花山公園）の公園化は歴史的価値があり検討が必要

答 菅森山の一部が除染され、きれいな山になった。先の一般質問では、「関係する部署と協議検討する」との答弁があったが、どのように協議されたか。また、公園内の芝生に車が入るので、景観も含めた今後の管理についての考えは。

答 花山公園は都市公園であるが、全山を公園化するには普通財産から行政財産に移行の問題がある。歴史的価値から教育部との協議が必要で、もう少し時間をかけて検討したい。さらに、安全安心を担保しながら維持管理に努めていきたい。

その他の質問

- ・入札等における不正防止策は
- ・二本松・金屋線、上ノ橋留付道路、合併支援道路・ドリームラインの進捗状況は



平成30年度に整備着手（本宮字館ノ越地内）



スマートインターを設置すべきでは



問 本宮駅舎等の進捗状況と経済効果は
答 整備は平成32年度末完了予定

後藤省一
議員

問 現在、取り組んでいない（仮称）地域交流センター、本宮駅舎、東西自由通路、本宮駅西口広場の進捗状況は。完成により駅の顔として、イメージアップが図られ、人的、経済的に変化があると思うが、経済効果はどのように捉えているのか。

答 （仮称）地域交流センターは、平成30年度末に完成予定。本宮駅舎、東西自由通路、駅西口広場等の進捗状況は、随時ホームページや広報紙等で知らせる。東西自由通路および駅西口広場の整備により、駅西口の開発が進み、経済効果が図られると見込んでいる。

問 安達太良SAにスマートインターを時期が来た時に、調査検討したい

答 スマートインターの目的として、利用者の利便性や地域の活性化、物流の効率化、災害時の避難、救護活動等に寄与するとある。県内でも群を抜く地の利がある本宮に、地域の活性化や観光誘客を進めるうえで期待されるが、設置の考えは。

答 市として、スマートインター設置に関するさまざまな影響について、現在具体的な検討はしていない。一つの課題として受け止める。大変な事業なので、その時期が来た時に、じっくりと調査・検討できる体制をとっていきたい。

その他の質問

- ・市内観光施設等を巡る試行巡回バスについて
- ・雨水流出抑制対策事業について



ピロリ菌検査を中学校健診に取り入れては

問 ピロリ菌は5歳までに感染しやすく、両親が感染経路と言われている。中学生の検査は高い受診率が期待できるの
答 学校で実施している菌検査は含まれていない。現在予定はないが、先行事例の取り組みを注視し、学校保健委員会や医師会等の意見も参考に、今後の対応について調査・研究を進めていく。

問 学校で実施している菌検査は含まれていない。現在予定はないが、先行事例の取り組みを注視し、学校保健委員会や医師会等の意見も参考に、今後の対応について調査・研究を進めていく。

問 国は、平成29年度に介護保険法や道路運送法に基づく指針の改正を行った。NPO法人などが高齢者を病院やスーパーなどへ車で送迎するサービスを介護保険制度の介護予防日常生活支援総合事業の一つとしている。本市でも取り組みを考慮は。

答 新しい指針に基づく介護保険の移動支援サービスを実施するにあたり、実施主体や方針の検討、車両の調達、運転講習会の実施、移送に係る保険への加入などの課題を解決する必要がある。安全面などを十分に精査して検討を重ねていく。



問

ピロリ菌検査を行っては先例の取組みを注視したい

石橋今朝夫
議員

問 買い物弱者に対する支援は課題を解決する必要がある



問

栗木平心急仮設住宅の再利用は新築並みの経費がかかるため断念

三瓶裕司
議員

問 栗木平心急仮設住宅は木造建築であり、ライフラインも整備してある。周囲の環境は、グラウンドや体育館、プール、野球場などに近く、合宿所、宿泊施設として再利用する考えは。

答 庁内企画調整委員会を開設して検討した。仮設住宅はプレハブ建築で、耐久性に乏しく、建設後6年を経過し朽ち始めている。仮設住宅を移築し再利用するには、新築並みの経費がかかるという結論に達したため、断念した。

問 排水対策基本計画の期間の短縮は財源確保し早い施設整備に努める

問 平成28年8月2日の局地的大雨により、万世、千代田地区に浸水被害が発生し、これを契機に本宮市排水対策基本計画を策定したが、計画では完成までに16年間と長い期間を要するが、計画期間の短縮の考えは。

答 検討委員会からも計画期間短縮の意見がある。補助事業を積極的に活用しながら財源確保に努め、施設整備をする。最上流の中グラウンドのバイパス管、次に上江堀の改修で、段階的に整備途中でも浸水被害は軽減できると考えている。

その他の質問

- 国保運営の県移管について
- 仮設住宅解体撤去後のサッカー場の整備は



栗木平仮設住宅の再利用はできないか

その他の質問

- 一人暮らしの日常生活サポートについて
- 新たな地場産品の創出は



GAP 認証取得にどう取り組むのか



問

GAP 認証の取得促進に向けた取り組みは
GAP 取得を関係機関と取り組む

円谷長作
議員

問 GAP（農業生産工程管理）については、昨年の6月議会の一一般質問で取り上げたが、その後の取り組み状況は。学校給食における地元産の食材の使用割合は、平均で35%であるが、本宮市の状況は。

答 東京オリンピックへの食材提供はGAPの取得がないとできない。JAは、風評の払しょくに向けて品目ごとの取得を目指している。市としても県、JA等関係機関と一体となつて取り組んでいく。学校給食の食材は、11月調査時は38%が地元産である。

問 2月の地方新聞で、4月1日から国民健康保険の財政運営が県統合になり、保険料が全59市町村減額されるという報道があったが、どうなるのか。また、関係者への周知と理解促進に向けて市の対応は。

答 国民健康保険の県統合への対応は5月に所得を確定し本算定を行う。県平均の保険料算定には、国保の赤字を埋める一般会計からの繰入等が考慮されず、必ずしも保険料が下がるとは限らない。5月に医療費や所得水準等を基に本算定を行う。広報もとみや等で分かりやすく、丁寧な説明に努める。

その他の質問

- ・本宮駅周辺東西アクセス整備事業について
- ・市内の施設をめぐる巡回バスの運行について



問

消防団屯所の建設について
岩根地区を第一に屯所を計画する

菅野健治
議員

問 市の計画では、岩根地区の本宮第8分団、長屋地区の白沢第5分団の屯所建設計画があると思われるが、現在の状況は。

答 岩根地区にある羽瀬石屯所は老朽化に加えて駐車場がなく、作業スペースも狭いことから、移転、建て替えの検討を進めてきたが、本郷屯所との統合の要望が出され、建設場所の調査、検討を行っていく。平成30年度中は、場所選定を進めていく。岩根地区が終了次第、次の屯所計画に着手したい。

問

平成29年度で終了する除染の総括は
組合、地元の方々に支援を頂いた

問 平成24年度から始まった住宅除染、事業所除染、生活圏域除染（森林除染）が平成29年度で終了するが、市の総括は。

答 除染については、発災後すぐに公共施設等を行った。平成24年度から市内に組合を発足し、和地区から契約して、各種作業を地元業者を中心に、安心感のある作業ができた。一番は人命に係わる事故がなかったことが何よりであった。

その他の質問

- ・保育士の確保、いじめ・不登校について
- ・空き家数と空き家バンクの推進の現状について



早急に屯所の整備を（白沢第5分団屯所）

幼稚園、保育所職員数		
2017年8月現在		
区分	正職員	臨時職員
幼稚園	19人	19人
保育所	38人	60人
合計	57人	79人

保育士等の確保に力を入れるべき

問 平成30年度の国家予算は、くらし経済の分野では、大企業や富裕層優先で、国民には冷たい「アベノミクス」の本質は変わらず、社会保障の自然増削減や大企業への減税など、「格差と貧困」を一層拡大する予算となっているが、市長の認識は。

答 今国会が開催中で、予算委員会も開催されているが、市長としてコメントすることは差し控えたい。本市においては、経済状況は好転している。税収もアップし、また、逆に扶助費が減り、生活保護を受けている方が減っており、本市はいい方に向いていると思う。

問 保育士、幼稚園教諭の確保は、急務になっている。今年度何人確保する計画があるのか。白沢地区三つの幼稚園長を一人にするのは、保育士の対策と言われているが、そのような間に合わせではなく、もう少し予算を使って何とかすべきでは。

答 保育士の人員確保については、年間を通して募集しているが苦慮している。白沢地区について一人の園長による三園の園長兼務体制で保育士の確保に努めていく。大学の提携など、様々な形で努力していきたい。人件費を使うのも限界がある。

その他の質問

- ・市営住宅のトイレ水洗化と増設の考えは
- ・農業支援策は



問 平成30年度国家予算について問う
答 コメントすることは差し控える

渡辺忠夫
議員



問 水稲作付の制度変更に対する考えは
答 営農計画書の数値を調査する

渡辺善元
議員

問 本年の水稲の作付は制度の大きな変更によって、農業者にとって不安の多いスタートになるが、本市の考えは。また、地域農業再生協議会としての関わり方はどのようになっているのか。

答 農事組合長会議を受けて、各農家に営農計画書と目安を示した。提出された数値をよく調査し、場合によっては飼料用米への転換等へも結び付けていきたい。

問 除染事業の今後は
答 新年度からため池除染を実施する

答 平成28年の福島県のモニタリング調査において、8千ベクレルを超えた、ため池31か所を実施する。平成32年度まで対策工を実施する。水稲作付に影響が出ないように、秋、冬の施工等で対応したい。

その他の質問

- ・防災行政無線の復旧の見通しは



水稲作付に支援を



今後の関畑地区の土地利用が心配される



問 荒井関畑地区の土地利用計画は

答 道路計画も制約があり今後の課題

渡辺秀雄
議員

問 関畑地区は近くに商業施設があり、交通の便もよく住環境に良い地域である。大半が畑地で埋蔵文化財包蔵地となっており、県道側で家が立ち並び将来の土地利用が心配される。道路新設改良等の公共投資を検討してはどうか。

答 道路用地だけでなく、ある程度の範囲を試掘調査しなければならぬ。本調査までを考へて計画を立てなくてはならないので、なかなか進められない。当地区を含め、本市の均衡ある発展と、宅地化をいかに進めるかは今後の課題である。

問 広く国際交流を推進すべきでは

答 交流事業はストーリー性の中で

問 ウィリアム王子が本市を訪問されたのを契機に、英国との交流事業が展開されているが、世界の国々に対して国際的な視野、感覚を得る機会を多くつくるため、国際交流員の配置により英国にとどまらず広く交流を図るべきでは。

答 ベラルーシ、英国に中学生を派遣している。交流事業は、人的な関係、様々な物的関係があつて、そのストーリー性の中で行われていくことが大切なことと思う。英国等の子どもたちが、本市に派遣されるような土台作りをしていきたい。

その他の質問

- ・ 宿泊施設を備えた複合施設の誘致活動について
- ・ 固定資産税の一律減額終了について



問 小・中学校のいじめ・不登校対策は

答 クラスの状況を調査する

三瓶幹夫
議員

問 いじめが大きな問題になっている。なぜ、いまだに根本的な解決に至っていないのか。肉体的、精神的、立場的に自分より弱い者を暴力や嫌がらせによって、一方的に苦しめ、深刻な社会問題となっている。本市におけるいじめ・不登校防止策は。

答 いじめ防止・早期発見は、クラスの状況を調査する。Q・Uテストを2回実施して、学級運営状況を調べ、担任と子どもたち、および保護者のコミュニケーションを密にし、早期発見に努める。不登校が生じない学級づくり、学校づくりが大切である。

問 選挙投票率向上の対策は

答 本宮高校生に期日前投票を呼び掛けた

問 選挙のたびに問題となるのが投票率の低下で、歯止めがかからず、全国的な傾向となつている。有権者の半数近くが選挙権を放棄している。選挙権を持った18歳、19歳の若者には、選挙権の意味を考えてほしい。投票率の向上策は。

答 若者への投票率向上の対策は、本宮高校の協力をいただき、期日前投票を呼びかけた。また、模擬選挙を行い、政治や選挙への理解を深めていただいた。市のホームページ、防災行政無線での広報、チラシ配布、街頭啓発を行った。

その他の質問

- ・ 中学校の部活動における外部指導員について
- ・ 仮置き場の維持管理と中間貯蔵施設への搬出について



投票率向上の対策を

